

# 平成20年度施政方針(要旨)



施政方針を述べる染谷町長

対する偽装も続出し、日々の生活への不安が一層高まっています。

このようなことから、危機管理体制の充実を図り、住民の皆様へ安全で安心な生活ができるよう万全を期してまいります。

また、現在、本町を含む地方自治体を取り巻く環境は、少子・高齢化や地方分権、市町村合併三位一体の改革による様々な行政改革の推進など、大変厳しい転換期を迎えております。

このような状況のもと、町は「行政改革運営プラン」に位置づけられた各般の取り組みを、今後一層強力に推進し、更なる行政の効率化に向けた改革に取り組む必要がございます。

本町の財政状況は、景気回復にあるといわれるものの、思うように伸びない町税や三位一体の改革による地方交付税などの減額により、一般財源総額がここ数年減少を続けている状況にあります。

これまでの行財政改革によって歳出削減を行ってきておりますが、町債残高がピークを迎え、その償還が本格化し公債費が増

加するのに加え、社会保障関係経費の増大により財政構造の硬直化が進んでおります

平成20年度予算編成は、国の景気動向、地方財政計画等に基づき、行政の原点である住民サービスを量的、質的に確保しつつ安定的で持続可能な財政運営となることを基本としました。

こうした中、平成20年度予算においては、より一層の徹底した歳出の見直しによる削減に努めるとともに、歳入面ではあらゆる財源確保策を講じ、住民が安心して暮らし、町の活性化に資する施策を展開していかねばなりません。

このため、予算編成にあたっては、「歳入に見合った歳出」が予算編成の基本であることを全職員が認識し、事務事業を抜本的に見直し、必要なサービスの維持と効率化に努めることといたしました。

このような基本方針をもとに編成いたしました新年度予算は、一般会計が34億4千万円となり、また、特別会計におきましては、7つの特別会計をあわせて22億6,942万2千円となりまし

た。一般会計と特別会計をあわせた予算の総額は、57億942万2千円となっております。水道事業会計予算につきましては、損益勘定、資本勘定それぞれ大幅な伸びとなっております。

このように編成させていただきましたが、限られた財源を最大限有効に活用し、時代背景に即した財政需要に的確に 대응していくべく、第4次総合振興計画の将来都市像「人がきらめくまち五霞」の実現に向け、次の6つの事項を基本といたしました。

### 緑豊かな美しい基盤づくり

- ・圏央道IC周辺整備の推進
- ・公共下水道の整備
- ・環境浄化センター機械設備更新
- ・防災ステーション隣接排水路の整備

### 安全で快適な環境づくり

- ・し尿・ごみ処理対策
- ・危機管理体制の充実・強化
- ・地球温暖化問題への取組み
- ・広域消防体制の効率化
- ・分団用消防ポンプ車1台更新

すこやかで安らぎのある暮らしづくり

- ・子育て支援の推進
- ・妊産婦健診の無料受診回数を現在の2回から5回に拡充

- ・障害者の実情に見合った障害者基本計画等の改定
- ・生活習慣病予防のため、特定検診、特定保健指導の実施

### 個性の輝く心豊かな人づくり

- ・教育委員会へ県派遣指導主事の設置
- ・教育活動指導員の設置
- ・中学校選択コース指導員
- ・小・中学校に英語指導助手

### 活力のある地域産業の振興

- ・「道の駅」かを活用した産業の振興と活性化
- ・地盤沈下対策事業
- ・生産調整推進事業
- ・病害虫防除対策事業

### ふれあいと住民参加のまちづくり

- ・第5次五霞町総合計画の策定
- ・定住化促進事業
- ・就学祝金事業
- ・結婚祝金事業
- ・行政改革運営プランの推進

以上、これら諸施策の執行にあたりましては職員ともども全力で取り組んでまいり所存であります。まちづくりのキーワード「絆」を大切に、「人がきらめくまち五霞」の実現に向け、町民の皆様のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。